

## 第1部

- ♪ 冬は暖炉のそばで  
冬景色  
雪  
おおさむこさむ  
冬の夜  
ペチカ  
春畑 セロリ
- ♪ カキクツケコ  
平田 聖子
- ♪ おちやらか  
野田 雅巳
- ♪ 三十五億年のサーカス  
～ ぼくがつきをみると  
～ 三十五億年のサーカス  
林 光
- ♪ UTA IV  
(utá)  
山川 あをい
- ♪ 木琴小協奏曲  
1 楽章 アレグロ(お囃子風に)  
2 楽章 アダジエット(追分風に)  
3 楽章 プレスト(追い立てられるように)  
黛 敏郎

## 第2部

- ♪ 春、芽吹きするとき  
どこかで春が  
春よこい  
春の小川  
花  
おぼろ月夜  
春畑 セロリ
- ♪ 七つの子  
本居 長世
- ♪ もずが枯れ木で  
徳富 繁
- ♪ <sup>ならやま</sup>平城山  
平井 康三郎
- ♪ ふるさと  
岡野 貞一
- ♪ ピアノのための《からたちの花》  
山田 耕祐
- ♪ この道
- ♪ 五木の子守唄  
熊本民謡
- ♪ わらべ歌春秋  
千秋 次郎

## 演奏者プロフィール

マリimba: 明瀬 由武 AKASE Yoshitake

東京芸術大学音楽学部器楽科打楽器専攻卒業。各ラジオ・テレビに出演。ポピュラーの分野でも全国的に演奏活動を行う。NHK FMにて新実 徳英「For Marimba I」、西村 朗「ソロマリimbaのための詩曲」他、数多くのマリimba作品の初演をする。青年海外協力隊隊員として中米コスタリカに派遣され、国立音楽院ソルフェージュ科教授、国立交響楽団打楽器奏者として、国立劇場をはじめ各地にてリサイタルを行う。

現在、東京・つくばをはじめ各地にて演奏活動を行っている。

CD「マリimbaの贈り物～クリスマスの日～」

CD「マリimbaの贈り物パート2～星降る夜に～」

(ピアノ: 高瀬 奈美 作・編曲: 織田 英子)

<http://museum.world.coccan.jp/y.akase/index.html>

ピアノ: 高瀬 奈美 TAKASE Nami

武蔵野音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。クラシックの古典から近代・現代音楽までピアノ音楽の可能性を探って、多彩な演奏活動を展開。つくば市では、2002年からピアノ独奏による「叙情詩集」、様々なゲストを迎えての「夜想曲シリーズ」が11回を数え、2016年11月には全曲ファリアの作品による「ファリアのタベ」を開催、好評を博す。

「つくばサロンコンサート」メンバー。

CD「ジョン・ケージ/ソナタとインターリュード」

## 編曲者

野田 雅巳 NODA Masami・・・三十五億年のサーカス～ぼくが・・・

佐々 涼子 SASSA Ryoko・・・七つの子、もずが枯れ木で、この道

出田 敬三 IDETA Keizo・・・ふるさと

吉川 雅夫 YOSHIKAWA Masao・・・この道

吉岡 孝悦 YOSHIOKA Takayoshi・・・五木の子守唄

アンケートにご協力ください。パソコンの方はホームページから、

携帯の方は左のQRコードからお送りください。

お待ちしております。



主催: 久守文化基金

マリimbaとピアノによる

# MIXMAGIC

ミックスマジックコンサート Vol. 10

※ 日本のうた・今ここに・未来に… ※

マリimba 明瀬 由武

ピアノ 高瀬 奈美

2019年1月26日(土) 2:00PM

MUSICASA



## 第1部

### ♪ 冬は暖炉のそばで 春畑 セロリ

「夏は来ぬ」「たなばた」「うみ」「浜辺の歌」「富士山」

春畑 セロリさんは、作曲、編曲、執筆、プロデュース、プログラミング、雑誌連載、全国でのセミナーなど、精力的な活動をしている方です。

私（明瀬）の頭の中にはいつか唱歌・童謡を良いアレンジで奏きたい、というのがずっとあり、高校・大学が同窓の彼女にお願いしました。「マリンバで奏でる日本の四季」には「春、芽吹きるとき」「想い出に逢える夏」「心揺れる秋、心満ちる秋」「冬は暖炉のそばで」の4つの作品からなっています。

世代が違っていても、誰でもが口ずさめ、聴いて癒されるメロディーをお楽しみください。

### ♪ カキクックコ 平田 聖子（1960～）

この曲は平成8年（1996）にマリンバとピアノのために作られました。平田さんは演奏にあたって次のようなイメージを付けています。

「曲は、力行とラ行の響きの二つの部分からなります。力行とはマリンバの歯切れの良い音色、ラ行はマリンバのトレモロのイメージです。」

### ♪ おちゃらか 野田 雅巳（1959～）

野田さんは京都在住の作曲家です。マリンバリスト通崎 睦美さんを通じて98年に知り合ってから、たくさんの曲をマリンバのためにアレンジしてもらっています。斬新な響きのするアレンジで、マリンバとピアノが格闘しているのではと思ったり、マリンバとピアノのどちらが音を出しているのかが、演奏していてもちょっとわからなくなったりする不思議な響きがします。

### ♪ 三十五億年のサーカス～ぼくがつきを見ると ～三十五億年のサーカス 林 光（1931～2012）

この長いタイトルの作品は、林 光のふたつのソングをつなげてひとつの編曲作品にしたものである。「三十五億年のサーカス」の原曲は舞台劇「ブランキ殺し上海の春」の劇中歌（佐藤信作詩）、「ぼくがつきをみると」は谷川 俊太郎訳によるマザーグースの詩につけられた音楽。編曲委嘱と初演は通崎 睦美（2010年）。

ふたつの曲のあいだに音楽的な繋がりはない。どちらもその歌詞に「月／つき」という単語があらわれる、というのは単なる偶然か、それとも初演がお月見のころだったから？（野田 雅巳記）

### ♪ UTA<sup>(utá)</sup>Ⅳ 山川 あをい

山川さんのUTA (utá)シリーズの中には多くのマリンバ作品があります。1993年に榊原 千菜により委嘱・初演されたUTA (utá)Ⅳは、これまで多くのマリンバリストに演奏されてきました。マリンバのもつ樹のぬくもりでうたうように書かれています。

### ♪ 木琴小協奏曲 黛 敏郎（1929～1997）

20世紀日本のクラシック音楽・現代音楽界を代表する音楽家の一人とされています。若い頃はフランス現代音楽界の影響を強く受け、電子音楽、テープ音楽、ミュージック・コンクレートなどの分野を、当時いち早く日本の音楽界に導入していますが、代表作 涅槃交響曲（1958年）発表以降は、日本的な素材・思想への関心がより高まり、作品にも大きく反映させています。他に「曼荼羅交響曲」「オペラ 金閣寺」「バレエ音楽 舞楽」などがあります。また、200曲近い映画音楽も担当しています。

さて、この小協奏曲ですが1965年に完成しています。時期から言っても日本的な要素が随所にみられる作品となっています。もともと木琴奏者平岡 養一の依頼により作られましたが、出来上がった作品を平岡が気に入らずに、別の奏者が初演を行った、というエピソードが残っています。

## 第2部

♪ 春、芽吹きするとき 春畑 セロリ  
「どこかで春が」「春よ来い」「春の小川」「花」「おぼろ月夜」

♪ からの花 山田 耕筈 (1886~1965)  
山田は、西洋音楽の普及に努めた、幅広い作品分野をもつ日本最初の指揮者、作曲家とされていますが、特に、日本語の抑揚を生かしたメロディーで多くの歌曲を残しています。  
「からの花」は、北原 白秋の詩「からの花が咲いたよ 白い白い花が咲いたよ…」で、歌曲として知られていますが、今日は作曲家自身がピアノ用に作ったものを演奏します。

♪ 七つの子 本居 長世 (1885~1945)  
野口 雨情の詩のついたこの曲は大正 10 年 (1921) に発表されました。二人は「赤い靴」「青い目の人形」「十五夜お月さん」「俵はごろごろ」なども発表しています。

♪ もずが枯れ木で 徳富 繁 (1914~不明)  
サトウ ハチローが発表した詩に感銘を受け昭和 13 年 (1938) に徳富が曲を付けて発表しました。しばらくの間茨城民謡として広まった時期がありましたが、昭和 31 年 (1956) に判明したそうです。

♪ 平城山 平井 康三郎 (1910~2002)  
歌人 北見 志保子が磐之媛(仁徳天皇の皇后)陵をテーマに詠んだ 2 首に、平井 康三郎が昭和 10 年 (1935) 琴の響きを取り入れて作曲しました。平井は「とんぼのめがね」「お江戸日本橋」なども作曲しています。

♪ ふるさと 岡野 貞一 (1878~1941)  
数ある歌の中で、もっとも親しまれているこの曲は、作詞 高野 辰之、作曲 岡野 貞一により、大正 3 年 (1914) に音楽教科書「尋常小学唱歌 (六)」に初めて掲載されました。このコンビは、「春が来た」「春の小川」「朧月夜 (おぼろづきよ)」「もみじ」など数々の名曲を作り出しています。

♪ この道 山田 耕筈  
「この道」の編曲者 吉川 雅夫さんは、私 (明瀬) が最もあこがれているマリンバ奏者です。コンサートでの演奏はもとより、スタジオプレーヤーとしても長年に渡り第一線で活躍しています。吉川さんの編曲は、楽器を熟知しているだけに、豊かな響き、躍動性に富んだリズムなど、マリンバの魅力を存分に引き出しています。今日は作曲家佐々涼子さんをお願いして、吉川音楽のエッセンスを十分に生かしながら少し手を加えたものを演奏いたします。

♪ 五木の子守唄 熊本民謡  
11 世紀後半から熊本県五木村に伝わる民謡ですが、古関 裕而が昭和 26 年 (1951) に編曲し、全国的に知られるようになったとのことです。

♪ わらべ歌春秋 千秋 次郎 (1934~)  
千秋 次郎は京都大学大学院工学部修了後同大で助手を勤めた後、作曲家に転向した経歴の方です。作品は 400 曲近くありますが、洋楽器と邦楽器の共演作品も多く書いています。  
「わらべ歌春秋」は、日本全国に広く知られている「あんたがたどこさ」「かぞえうた」「ずいずいずっころばし」のわらべ歌がメドレー風になっています。「かぞえうた」では、ピアノパートから「六段」が、マリンバパートからは「かごめかごめ」が聞こえてきます。